

公益社団法人 守山青年会議所

2017 年度 第 13 回理事会

議事録

日時 2017 年 9 月 4 日（月） 20：00～23：20

場所 JC ルーム 2 階

出席者

役職	氏名
理事長	藤本 進矢
直前理事長	三品 知寛
顧問	田中 尚仁
副理事長	西田 裕美
副理事長	南出 誠
会員拡大室 室長	尾瀬 正行
理事	太田 智真
理事	荒山 一也
理事	酒井 暁隆
理事	田中 聡一郎
監事	新谷 文孝
監事	間宮 良仁

遅刻	間宮監事
欠席	池田理事

1.開会 高岡事務局長

2.JCI クリード唱和 酒井理事

3.JCI ミッション並びに JCI ビジョン唱和 田中理事

4JC 宣言文朗読並びに綱領唱和 荒山理事

5.理事長挨拶 藤本理事長

みなさま、こんばんは。本日も定刻よりお集まりいただきました理事のみなさま、ありがとうございます。本年の理事会も残りの回数が少なくなってきました。こうやって理事のみなさまにお集まりいただき、こうして理事会ができること、それ自体が私自身嬉しく思っております。そして先月、納涼例会を開催していただきましてありがとうございました。太田委員長をはじめ、荒山副委員長、田中副委員長、そしてメンバーのみなさま、天候にも恵まれ、良い納涼例会であったと私自身感じております。ありがとうございました。また、先日滋賀ブロック大会が開催されました。ここにいらっしゃるご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。ブロック大会というのは、守山 JC だけでは感じられないようなスケールメリットや、滋賀ブロックの「オモイ」の集大成として開かれる大会です。そんな「オモイ」を少しでもみなさまに感じ取っていただけたのかなと非常に嬉しく思います。そして、卒業式もその場で執り行われたかと思えます。当日参加できなかったメンバーの方もおられるかと思えます。卒業式がどうであったのか、ブロック大会がどうであったのか、少しでも伝えていただき、

滋賀ブロックの担いやスケールメリットを共有していただければと思います。是非ともよろしく願います。

そして、今月も新たな会員を迎えることができました。絶えることなくこのように新たな会員を迎え入れることができるのは、本当にメンバーお一人おひとりのお力でいまだに継続して会員拡大に繋げていただいているからだと思います。本年におきましては、やはり会員拡大をメインにさせていただいております。この勢いをどうぞ12月まで持っていただき、そして2018年度に繋げていただきたいと思いますので、どうぞ最後の一日まで会員拡大にみなさまの力をお貸しいただきますよう、改めてよろしく願います。

さて、話は変わりますが、今回私がブロック大会に参加いたしまして、いろいろなことが印象に残りました。一番印象に残ったのが、FacebookやLINEにも上げていただきましたが、甲冑での登場シーンであったかなと思います。なかなかできない経験をさせていただきましたとともに、身の引き締まる思いで入場させていただき、メンバーのみなさまに迎えていただいたことを非常に嬉しく感じました。そんな中で昔のことを思い出しました。つまらない話ではあるんですが、昔甲冑を着て戦っていた、戦国時代の思いを馳せてしまいました。昔にちょっと聞いた雑学ではあるんですが、戦国時代の戦というのはどのように行われていたのか、その一部について耳にしたことをお話しします。日本における戦場というのは、どこかの城に攻め込むということもあったのですが、どちらかというと平野で、武将同士が名乗り出て戦うことが多かったようです。そこで私が思ったのは、「戦いはどのように始まったんだろう」というところでした。日本といっても広いところではありまして、普通に進軍をして（敵に）当たるかといえば、たぶん当たらないと思います。敵軍と味方の軍との遭遇戦が行われていたかと思うのですが、それってすれ違っていたらどうなっていたのかなと。そんなことが気になって、詳しい方にお話を訊いてみたんですが、何ともちょっと気の抜ける話なんですけど、待ち合わせをしていたらしいです。事前に手紙のやり取りをして、何月何日に何処で待ち合わせをして戦いましょう、というのをやっていたらしいです。戦場に行くのに気が抜けないのかなと思ってしまいました。ただ、それと同時にそれって非常に重要なことだと改めてこの場に立たしてもらって思います。それはやはり事前にいろいろなことを準備して、それは待ち合わせもそうですが、自分自身がこれからどうやっていくのかを相手に伝える。相手からも伝えてもらう。そしてその場に臨む。それはJCでも同じことだと思います。この時期になりますと、本年度と次年度が重なり合ってくるかと思います。近代では「報・連・相」と言いますが、まさしくそれは昔から伝わってきたことではないかと思います。すべてのことを事前に連絡し、相談し、そして物事を決める。基本的なことではありますが、それができていないとその組織というのはうまく回らないかと思います。そしてそれは、本年度と次年度、2つのことが重なると余計に必要となるかと思います。みなさまは理事という立場で理事会に参加しておられます。それは他のメンバーよりもいろいろな情報を得ていただき、いろいろなことを守山JCのために考えていただける立場だとは思いますが、しかし、メンバーにとっては今どのような方向に進んでいくのかというのは、この場に出ていないとわからないかと思います。そして、それは委員会や執行部、理事同士においてもそうかと思います。本年度の理事同士であれば、顔を合わせる機会が多いので、話自体はできるかと思います。しかし、次年度が決まってくると、新たな理事と本年度理事、やはり引き継ぎという意味でも非常に重要となってきますし、委員会の方針というものを次に伝える必要があるかと思います。一人ひとりが自覚して次に伝えるために、今一度自覚を持っていたら、この理事会から持って帰っていただけるものが何なのか、自分が参加しているものから持って帰っていただけるものが何なのか、理事会に参加していただきながら思いを馳せていただければと思います。少しとりとめのない話となりましたが、本日の理事会も非常に有意義なものになるかと思います。最終最後までご意見などをよろしく願います。

6.直前理事長挨拶

あらためまして、こんばんは。ブロック大会みなさまお疲れさまでした。出向いただきました3名のみなさま、本当にお疲れさまでした。本当に苦勞されたかと思います。素晴らしい大会でした。理事長が甲冑を着ておられて、非常に羨ましかったんですが、理事長だから着させてもらっていたところがあると思うので、それだけ貴重な一年なのだと思いますし、会員拡大について掲げられた目標に歯を食いしばって、みなさんが担当されている姿を下支えしながら後ろからサポートしておられる姿を見ながら、理事長でいらっしゃる今の気持ちを新たねえ感じさせていただきました。

少し話は変わりますが、拡大に関して続けて入会していただいているんですが、2名ということで今月入会をきいております。そのうちの1名はみなさんがよくご存じの方でございます。昨年執行部で活動を共にしていた方でもあります。昨年の12月で退会ということになっていました。本当に急な話で、今日の理事会での上程という話になりましたが、あまり急な話なのでみなさまに少しお話をさせていただいた中でまた一緒に活動をしていただけたらと思います。私も直接お話をさせていただいた中で、彼女は退会されてから何の未練も喪失感もなかったと当時は思っていたとおっしゃっていました。日を過ぎていく中で、またそんな気持ちが出てくるのかと思っていたのですが、5月、6月になっても何もなかったとおっしゃっていました。しかし、夏まつりの実行委員会に、個人の有志として関わっていく中で、実行委員として小林君、姥ヶ谷君が出向される中でなんか楽しそうに見えたのではなく、ずっと小林君と姥ヶ谷君が「戻ってきいや」と声を掛けていたそうです。そんな中で、彼女は自分に何かできることはないかと感じていたそうです。実行委員の2人がこの夏まつりの議案に苦しめられていると相談していたそうなんですけれども、その中で自分のJCの中での存在意義を強く意識するようになったそうです。また、自分が退会されてからもずっと他のLOMからも誘いを受けていたそうです。JCと関わることが多くて、もともと彼女がしたいこと、まちづくりに関わりたいという思いもあり、それに加えて、小林君、姥ヶ谷君から「どうしたらいい、助けてほしい、教えてほしい」と相談を受けながら、やっぱり彼女は自分のできることはなんやろうと感じた中でまたJCをしたい、単にJCをしたいのではなくて、自分が副理事長という役職をさせてもらったこと、そこまでさせていただいたことに関してお返しをしないといけないということを思えるようになったとおっしゃっていました。そんな中で彼女は藤本理事長に「もう一回JCをやりたい、活動をしたい」と申し出ておられました。藤本理事長に関しては、昨年のこともありましたので、私から話をしたうえで、最終話をして決断をしていただきました。私も昨年の執行部としてみなさんに話を共有した中で、佐藤君の今の状況と意思を確認させていただきましたし、彼女がこれまで経験されたことというのは、経験の浅いメンバーが多い守山JCにとっては今後の大きな力となります。ぜひとも力を貸してほしい、入会してほしいという中で、今回入会申込書を出していただいている経緯となっています。入会に関してはこれから審議もありますが、こういった経緯でもありますし、改めて報告がてらこの場でお話をさせていただきました。こんな形でJCしたいと、いったん（退会しても）「未練はない」とまで言っていた人が「やっぱりしたい」と思ってもらえるような組織でもありますし、みなさんのやっておられる役職を終えたら最終的に振り返ったら、またやりたいと思えるような思いを持てるようになれるかと思います。今年度の残りも取り組んでいただきまして、またそんな感情を覚えていただけるように願ひまして、冒頭の挨拶とさせていただきますたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

7.議長選出

理事長より南出副理事長を指名される

8.定足数の確認 高岡事務局長

理事 9 名中 8 名の出席です。定款第 42 条により本理事会は成立いたします。

9.オブザーバーの承認 高岡事務局長

会員拡大委員会の村田君が参加されています。
拍手により承認される。

10.提出資料の確認 高岡事務局長

■提出資料■

- ・ 報告事項 スケジュール
- ・ 確認事項 第 12 回理事会議事録
- ・ 確認事項 第 5 回臨時理事会議事録
- ・ 2017 年度全国大会参加・登録に関する件
- ・ 2017 年度 JCI JAPAN 少年少女国連大使活動報告に関して
- ・ 新入会員入会承認に関する件
- ・ 2017 年度公益社団法人守山青年会議所組織図
- ・ 2018 年度役員候補者選出名簿承認に関する件
- ・ 完了報告 4 月定例会に関する件
- ・ 完了報告 7 月定例会に関する件
- ・ 10 月定例会設営ならびに日時変更に関する件
- ・ 新入会員育成事業開催に関する件
- ・ 11 月定例会設営に関する件

11.報告事項

理事長 先月 24、25 日に男女共同参画全国大会が埼玉で開催され、フォーラムに参加した。今月 29 日から 10 月 1 日にかけて全国大会（埼玉）に参加。卒業式も開催。

12.業務執行役員報告

西田副理事長 8 月 9 日に滋賀ブロック協議会の役員会議に参加した。8 月 21 日に JCI JAPAN 少年少女国連大使と理事長と一緒に滋賀県知事に表敬訪問。8 月 23 日に会員会議所に参加。8 月 28 日に県立守山中学校へ国連大使の啓発活動に参加。

南出副理事長 報告は特になし

尾瀬室長 会員拡大委員会の各議案の確認

※今月より業務執行役員報告を行う。公益社団法人として「業務執行役員」が定款の中にあり、理事長、副理事長、専務理事、室長までが毎月の理事会で報告するのが報告という形になっている。

13.終了時刻の設定 高岡事務局長 22 時 39 分でお願いします。

14.確認事項 議長

前回議事録確認に関する件

前回議事録として第 12 回理事会議事録、第 5 回臨時理事会議事録が提出されています。何かお気づきの点等ございましたら、本理事会終了までに申し出ていただきますよう、お願いします。

15.議事の採択 議長

(報告案件) 議長より報告事項第3号その他上程を求められたが、上程がないため第3号議案その他が抹消される。

16.報告事項

第01号議案 2017年度全国大会参加・登録に関する件

会員委員会 村田君 読み上げ

第02号議案 2017年度 JCI JAPAN 少年少女国連大使活動報告に関する件

西田副理事長 読み上げ

事前配信より、活動報告のスケジュール、9月に守山市長に事後報告として表敬訪問となっていたが、10月に変更。

太田理事 活動報告プログラム、20:52のところ、「大崎永菜“さん”」になっている。君で統一。また、「内容」の、2017年度少年少女国連大使活動報告②のところ、「得れる」は「得ることができる」の表現にした方が良いのではないかな。

西田副理事長 まず1点目、20:49も「さん」になっているため、あわせて修正します。2点目については、意味あいが通じているのであればこのまま修正はしません。

太田理事 会場図の中の司会席が2つあるが、ここには誰が座るのか。

西田副理事長 荒山副委員長と私が座ります。

酒井理事 「おおざきさん」の名前が「大崎」「大崎」と2種類あるので統一してほしい。

西田副理事長 「大崎」が正しいので修正します。

田中理事 報告事項の①の名前も修正が必要である。

太田理事 依頼事項⑤、「池田晋一郎」になっている。正しくは「池田晋一郎」。

17.議案の採択 議長

(審議案件) 議長より審議事項第9号議案その他上程を求められたが、上程がないため第9号議案その他が抹消される。

18.審議事項

第01号議案 アテンダンス承認に関する件

高岡事務局長 読み上げ

採決 全会一致をもって承認される。

第02号議案 新入会員入会承認に関する件

会員拡大委員会 太田委員長 読み上げ (2名の新入会員の入会申込書回覧)

新入会員選考委員会 高岡事務局長(代理) 特に選考にあたって問題なしのため、入会を承認します。

採決 全員の拍手をもって承認される。

第03号議案 新入会員委員会配属に関する件

高岡事務局長 読み上げ

採決 全員の拍手をもって承認される。

第 04 号議案 2018 年度役員候補者選出名簿承認に関する件

高岡事務局長 読み上げ

議長 次年度の投票当選者数を次年度理事長より報告してください。

太田次年度理事長予定者 A グループ（理事長経験者）より 1 名、B グループ（理事長経験なし）2 名。

酒井理事 参考資料の「2018 年度役員候補者選出名簿作成参考資料」の坂田一紀君の 2016 年度所属委員会が「社会開発拡大委員会」になっている。正しくは「会員研修委員会」。

高岡事務局長 修正します。

田中理事 同様に吉岡枝里子君の 2016 年度が「総務広報委員会」になっている。正しくは「会員研修委員会」。

高岡事務局長 修正します。

（議長采配により 8 分休憩）

田中理事 参考資料の「9 月総会資料」のリンクが張られていない。

高岡事務局長 リンクを張りなおすよう修正します。

採決 全会一致にて承認される。

第 05 号議案 完了報告 4 月定例会に関する件

会員拡大委員会 太田委員長 読み上げ

会員拡大室 尾瀬室長 予算読み上げ

講師関係費△200 円 宿泊費に改定があったため 200 円値上げ

採決 全会一致にて承認される。

第 06 号議案 完了報告 7 月定例会に関する件

会員拡大委員会 田中副委員長 読み上げ

荒山理事 副委員長所見の中に「中弛みを心配していました」とあるが、具体的にどういった心配を懸念したのか。

田中副委員長 メンバー同士が会を重ねるごとに結束が強くなっていくところはよいが、だんだん「なあなあ」になりすぎてしまうところや、6 月で会員数 30 名を達成したところで気持ちの緩みが出るのではないかという心配がありました。

荒山理事 所見の中に、「厳粛な例会になった」と「緊張感の欠如を感じました」とあり、これらは相反する言葉だと思うが、これは前日のリハーサルに対する「緊張感の欠如」ということか。わかりづらいので補足的に説明してほしい。

田中副委員長 例会自体はメンバーのみなさんにしっかりやっていただき、いい例会になったと思いますが、前日リハーサルの日程変更やリハーサルの時には過信があったのかはわからないが、前回の例会の担当の時よりは集中力が欠けていたかと感じました。

議長 先ほどの第 01 号議案でアテンダンスの承認がなされていますので、参加員数結果の人数を 30 名から 31 名に修正してください。

採決 全会一致にて承認される。

第 07 号議案 10 月定例会設営ならびに日時変更に関する件

荒山副委員長 読み上げ

酒井理事 参加員数計画の対内人数 33 名を 35 名に修正してほしい。

荒山副委員長 修正します。

田中理事 前回の執行部会で例会の座席配置について検証をしていただいたかと思うが、「この配置で問題ない」と意見対応にあるが、実際どういう所を具体的に検証して問題ないと判断したのか。

荒山副委員長 9月定例会の時の会場図の配置を見て机とイスを並べさせていただきました。それと今回の会場図とを委員会メンバーで話し合った結果、10月定例会として上程した会場図の座席配置の方がより見やすい配置であると判断したため、この配置とさせていただきました。

田中理事 今の発言ですと委員会で議論して、実際に机を並べての検証はされていないということか。

荒山副委員長 はい。

議長 執行部の意見対応では「実際に配置した」となっているが、それで正しいですか。

荒山副委員長 そうです。

議長 先程の田中理事との質疑応答では「配置していない」という回答ではありませんでしたか。

荒山副委員長 机とイスは並べました。ステージなどのすべてを配置したわけではありません。机とイスを並べてみて、9月例会仕様と今回とどちらがよいか検証させていただきました。

議長 それで今回の配置で大丈夫だと判断されたのですか。

荒山副委員長 大丈夫というよりは、机の横3列の配置に慣れていることもあってか、こちらの方がいいと判断しました。

採決 全会一致にて承認される。

(ここで議長交代、藤本理事長より西田副理事長を議長として指名される。)

第08号議案 新入会員育成事業開催に関する件

JAYCEE 養成特別委員会 南出委員長 読み上げ

前回からの変更として、理事会の会場図を変更しています。

また、実施プログラム、事前説明会の受講者スピーチのところ登壇時間を追記しました。また、参加員数計画を35名に修正します。受講者がFT講座について欠席、遅刻、早退した場合に関しましてはグループの連帯責任として補講とさせていただきますので、3グループとも該当者が出た場合は、3グループによる補講を行います。

尾瀬室長 予算読み上げ

太田理事 議案の青字の部分は直前の執行部会以降の修正だが、前回の理事会からの修正部分が赤字でわかるようになっていない。

南出委員長 事務局に資料提出した際にその指摘はありませんでした。前回協議の理事会での意見対応は赤字でしたか。理事会を経て執行部会を通った後は赤字がきえるのではありませんでしたか。

議長 事務局から指摘がなかったということもあるが、今年度のルールとして、理事会での意見に対する修正点は赤字で残すこととなっていますので、修正点を赤字にしていきたいと思います。前回執行部会に上がってきている議案は修正点が赤字になっていますので、赤字に修正をお願いします。

(議長采配により10分休憩)

(21:45再開)

南出委員長 前回協議での意見対応で修正した部分を赤字に修正しました。

太田理事 参考資料の「新入会員事業対象者リスト」9番の浅野君の所属事業所が違っている。正し

くは「アスミル特許事務所」なので、修正してほしい。

南出委員長
太田理事 修正します。

南出委員長
田中理事 添付資料の「事前説明会資料」の中身で、FT 講座当日までの流れの＜前日まで＞の 5 つ目、「当日の座長」となっているが、「座長」でよかったか。

南出委員長
田中理事 「座長」を「グループ」に変更します。

南出委員長
荒山理事 FT 講座の会場図にプロジェクターの記載がないので付け足してほしい。また、セミナーの会場図もプロジェクターの記載が「PJ」ではなく「PP」となっている。

南出委員長
荒山理事 「PP(プロジェクター)」の追記と修正をさせていただきます。

南出委員長
荒山理事 実施プログラムの「FT 修了証授与式」の「講座受講者発表」は全員で「築き」をテーマに発表するということだが、受講者 19 名で行うのか、一人ひとりがそれぞれ発表するのかわどちらか。

南出委員長
議長 毎年受講者全員に発表していただいておりますが、どういった内容にするかは FT 受講者メンバーで決めていただいて発表していただきます。

南出委員長
太田理事 資料の対象者リストと会場図の修正はされますか。

南出委員長
太田理事 修正します。

南出委員長
太田理事 冒頭にあった、参加員数計画の修正もお願いしたい。

南出委員長
太田理事 (議長采配により、10 分休憩)

南出委員長
太田理事 (間宮監事が遅参される。)

南出委員長
太田理事 (延長で 10 分追加休憩)

南出委員長
太田理事 (22 : 20 再開)

採決 全会一致にて承認される。

南出委員長
太田理事 (議長交代、藤本理事長より、南出副理事長を指名される。)

南出委員長
太田理事 (議長采配により、終了時刻修正。終了予定時刻 22 : 50)

19.議案の採択 議長

(協議案件) 議長より審議事項第 2 号議案その他上程を求められたが、上程がないため第 2 号議案その他が抹消される。

20.協議事項

第 01 号議案 11 月定例会設営に関する件

田中副委員長 読み上げ

田中副委員長 参加員数計画を 35 名に変更します。期末目標にこの時点で達成しても達成していなくても会員拡大委員会として拡大活動に取り組み、次年度に一石を投じるつもりで取り組む。

荒山理事 先ほど「次年度に一石を投じる」とあったが、拡大タイムでどのように「一石を投じる」のか。

田中副委員長 時点では言及できないところもありますが、今年度我々がやってきたことを振り返ることで先が見えることもあり、拡大は今年度だけのものではないので、次年度以降活かしていけたらと思います。今年度の拡大の目標は 37 名だが、40 名以上を目指して取り組んでいきたいと思います。

荒山理事 11 月例会で田中副委員長の集大成としての拡大タイム、我々の次年度のために「オモイ」

を残していただけるとわかった。出向者報告として、「ほたるのまち 守山ハーフマラソン」があるが・・・。

田中副委員長 その件について、田中小委員会の要石君が実行委員として出向していただいております、12月3日に開催されるため、報告に追加している。

議長 これは要石君には確認を取っているか。

田中副委員長 取っている。

21.議長退席

22.委員会報告

会員拡大委員会 太田委員長

今月13日に例会がありますのでご参加の程よろしく申し上げます。拡大活動についてですが、各グループで集まっていた中での活動ということで情報を共有して、拡大グループとしての作戦を立てて行動することを検討していただきたいのでご協力をお願いします。9月の入会説明会は当初29日を予定していましたが、全国大会の関係で、26日に変更します。

JAYCEE 養成特別委員会 南出委員長

審議可決していただきありがとうございました。まず10月2日に事前説明会があり、11月25日の修了式までFT事業がございます。次年度と交錯する中ではありますが、理事のみなさまにはメンバーの模範となっていただくようによろしく申し上げます。また、新入会員がたくさんいますので、みなさまのご協力なしに成功いたしませんので何卒よろしくお願いします。

23.監事総評

新谷監事

みなさんこんばんは、お疲れさまでした。今日の理事会は南出副理事長のいつものテンポ感が少なかったかなと思います。自分の議案上程をイメージしたテンポ、いつもの南出副理事長のテンポ感は好きなので、もう少しテンポよくしてもよかったかなと思いました。議案上程の中での修正はある程度仕方ないと思いますし、添付資料も非常に多いので仕方ないと思いますが、ケアレスについては事前に確認もできますし、当の本人は分からないと思うので、事務局とか客観的に読める人が指摘なり、精査なりを協力して、少しでも修正の時間が無くなるように気を付けていただきたいと思います。

それと前回の納涼例会、それと滋賀ブロック大会、お疲れさまでした。納涼例会については私も参加させていただき、途中で抜けさしてもらいましたが、お食事等一緒に参加させていただきました。家族例会の雰囲気等、私も現役の時に家族例会はありましたが、非常に和やかな雰囲気の中で。私の時はもう少しこう緊迫感というか張りつめた感じがあったかと思いますが、そういったこともなく、お子さんの楽しむ顔や、メンバーのお父さんの顔、お母さんの顔を見られて本当に良かったなと感じました。非常に和気あいあいとした雰囲気を作っていたのは、企画の内容が功を奏したのかなと思いました。議案の中ではざっくりと書いてあって読み取りづらかったところを、流しそうめん等遊び心があって非常に良かったかなと。流しそうめんと言いながらうずらの卵が流れて行ったり。そういったものは担当者のさまざまなアイデアがあったのではないかなと思います。もちろん細かいところまで議案の中で精査するということはありますが、アイデアの「本質」の部分ですね。どうい

思い、何を大切にしたいかでどういった演出をするのか。それがどうであったのかを引き継いでほしいと思います。非常に楽しい例会だったと思いました。ブロック大会については非常に楽しみにしていたんですが、急遽所用が入り、欠席させていただき大変申し訳ございませんでした。内容については間宮監事からお聞きしておりますが、事業の方ですけれども、行けなかったことが残念やっと思いました。完了報告について触れてありましたが、担当者やメインに関わった方が実際やってわかったことや、担当者だけの経験や学びというものを組織の財産として、残してシェアしていくということが完了報告の中で大事なところですよ。実際にやってみて担当者が見えた景色というものを組織全体でシェアして繋げていくということが、完了報告の意義だと思います。これからはまた完了報告が出てくると思いますので、そういったことまで踏み込んでいただけたらと思います。

冒頭に直前理事長からもお話がありましたが、新入会員獲得に拡大活動を頑張ってくださいしていますが、今日承認した中に、レアなケースですね、去年までおられて、退会されて、また新入会員として入られました。過去にもありました。もともといらっしゃって、退会されてまた改めてというケースもありました。退会されてから新入会員として入られる期間がこれだけ短いというのはなかなか無いなという感想はありますが、冒頭に直前理事長がおっしゃったように、みなさんもまた理解していただきたいと思います。執行部経験ということはありますけれども、これはまた新入会員として、新たに迎えるという形になりますし、次年度の FT 事業もまた受けていただくという形になります。みなさんの中では経験を持たれているという中で気を遣うということにもつながるかとは思いますが、こういった経験者で、再度新入会員で入られる方の対応については、みなさんでコンセンサスをとっていただくということで。現役のメンバーのみなさんは暖かく迎え入れていただくとともに、気を遣いすぎないように。私は同期入会ですが、もちろん彼女は調子に乗ってくるかと思っています。みなさん気を悪くせず、今年の肝である会員拡大、この大切な時期を乗り越えられたということはみなさん自信を持っていただいて、新たに新入会員として迎え入れて、よりよい会として繋げていっていただきたいなと願っています。以上です。よろしくお願いします。ありがとうございました。

間宮監事

みなさん、こんばんは。まずもちまして、遅参して申し訳ございませんでした。家の用事があってどうしても抜けられず、遅刻させていただきました。いつもはぺらぺらと喋っているんですけど、遅刻すると喋りにくいかなというのがあります。なんでかなと、理由は一応あるんですけど。当然ながら開会から居ると理事長の挨拶をお聞きして、直前理事長の挨拶をお聞きして、理事会の運営を見て、最後に僕らが喋らせていただくという。一応大筋の流れがあって、その全部を見た中で、最後に監事としてどう思うかというお話をさせていただくと。最初から理事長、直前理事長の話を聞けなかったということは、やはりちょっと喋りにくいかなというのがあります。だから、途中から参加させていただいて見させてもらった理事会の話だけ感じたことをお話しいたします。

まずは、FT 事業の議案から入らせていただいたんですが、ちょっと不備が多かったかなと思いました。当然上程された方は分かっておられるかと思いますが。10月、11月は理事会傍聴となっていたかと思いますが、「新入会員を教育するために理事会を見てもらおう」という場であれほど休憩が挟まると、「僕たちは日々何をしているんだ」となり兼ねないかなと思いますので、そのためにというのもおかしい話ですが、守山 JC ではここで決めて総会に上がりますので、一番、議論を尽くしているかというのを見ていただくための傍聴かと思いますが、これからはしっかりと議論をする場であって修正する場ではないようにしていただきたいなと思います。9月になりましたので、通常であればあと3回という形になるかと思いますが。13回（理事会を）見させていただいた中で、みなさん最初よりも成長されているかと思いますが、これから次年度に向けてのバトンゾーンとなるかと思いますが、2017年度の事業をしっかりと議論した中で、2018年度に繋げていっていただければと思います。2018年度のことを決めるのが、今度の13日の例会の後の総会かと思いますが。次年度のスタートの日でもありますので、すべてのメンバーで次年度の承認をしたいなと思いますので、またご尽力いただければと思います。そんなことを思いまして本日の総評とさせていただきます。お疲れさまでした。

24.次回理事会開催日 10月4日（水） 20：00 JCルーム

事務局 9月16日（土）執行部会資料㇏
9月20日（水）20:00～ 第14回執行部会
9月30日（土）理事会資料㇏
10月4日（水）20：00～ 第14回理事会

25.閉会